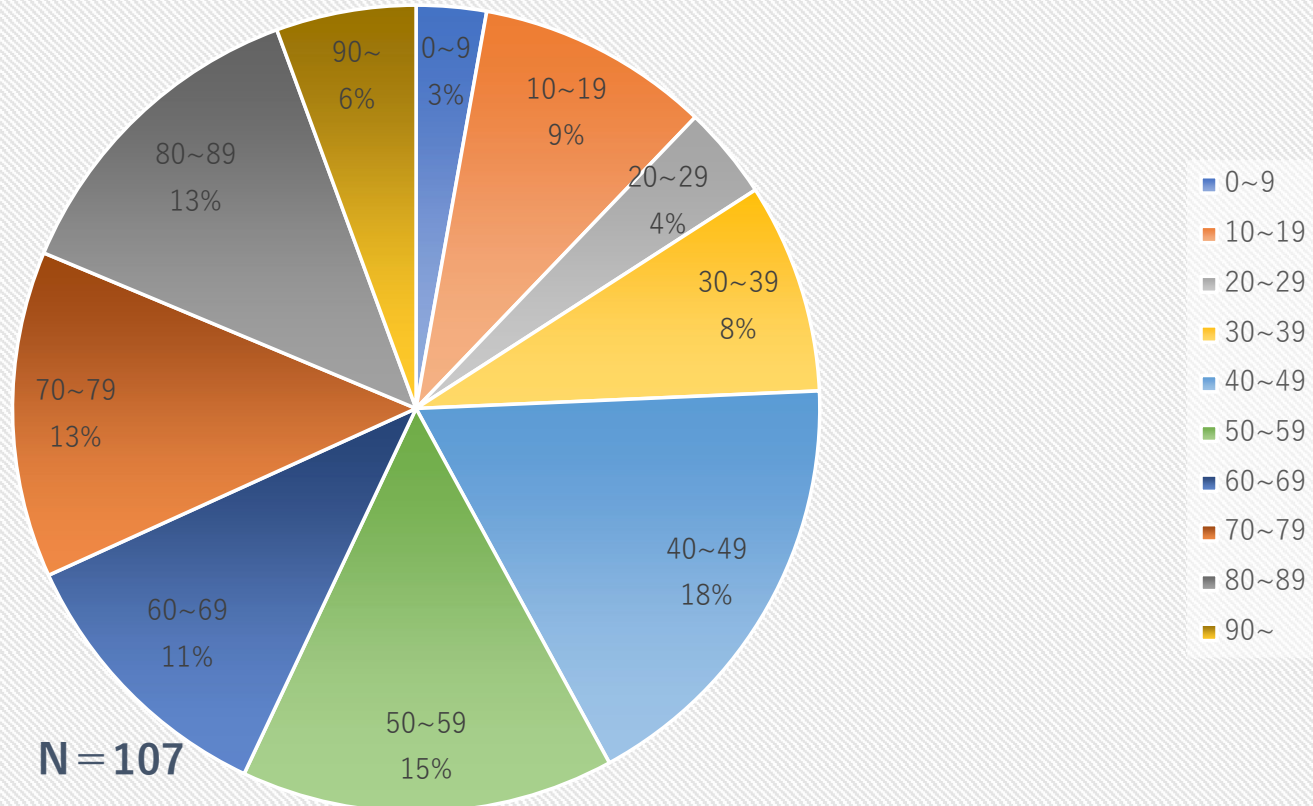


令和3年度～5年度訪問診療データ

<年齢別>

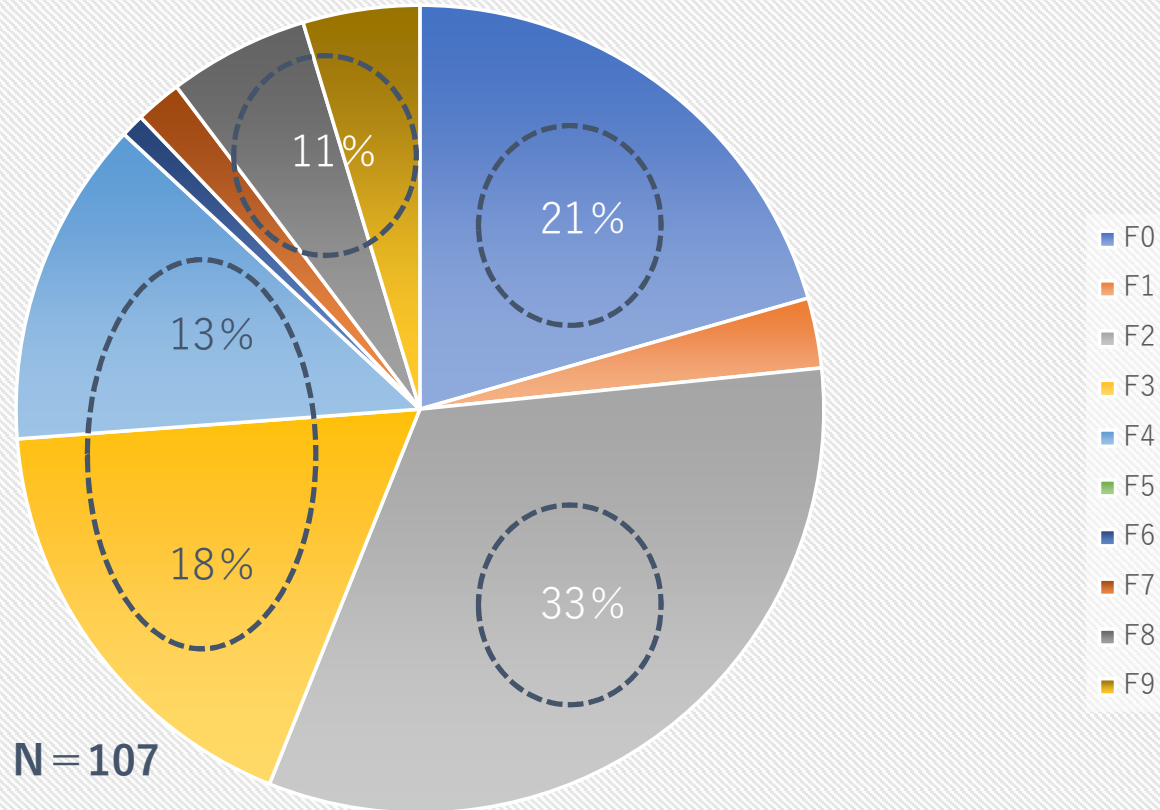
この3年間を通じ、様々な年齢層に
対応



令和3年度～5年度訪問診療データ

< 疾患別 >

認知症群 (F0)、
統合失調症群 (F2)、
気分障害・不安障害群
(F3,F4)、
自閉症スペクトラム群
(F8,F9)
の4群
に大別される



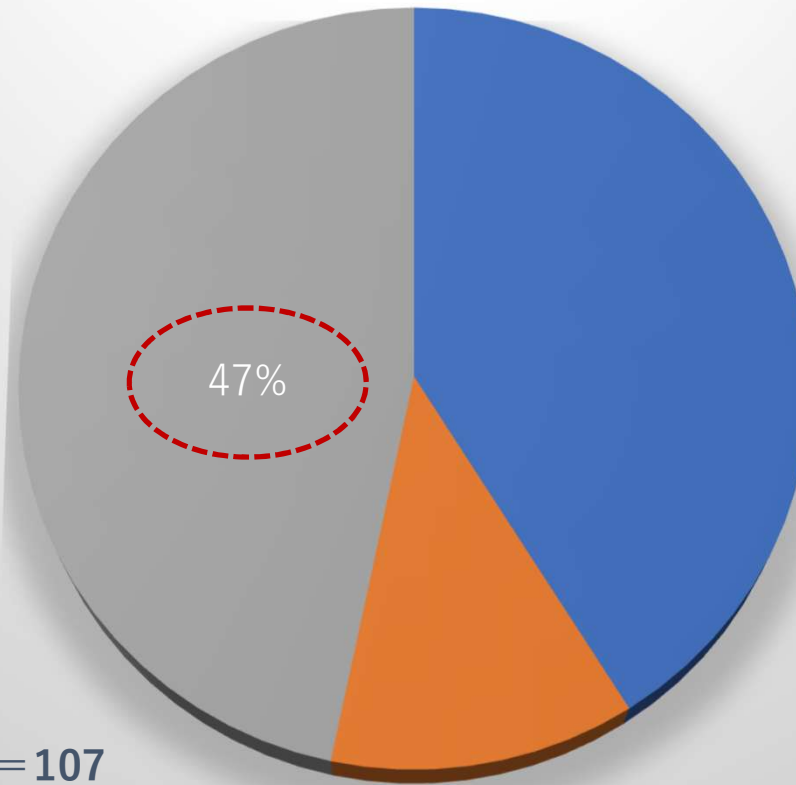
令和3年度～5年度訪問診療データ

< 依頼元別 >

他医療機関、
地域からの依頼が
過半数を超える

地域からの依頼は47%に
及ぶ

N = 107



院内依頼

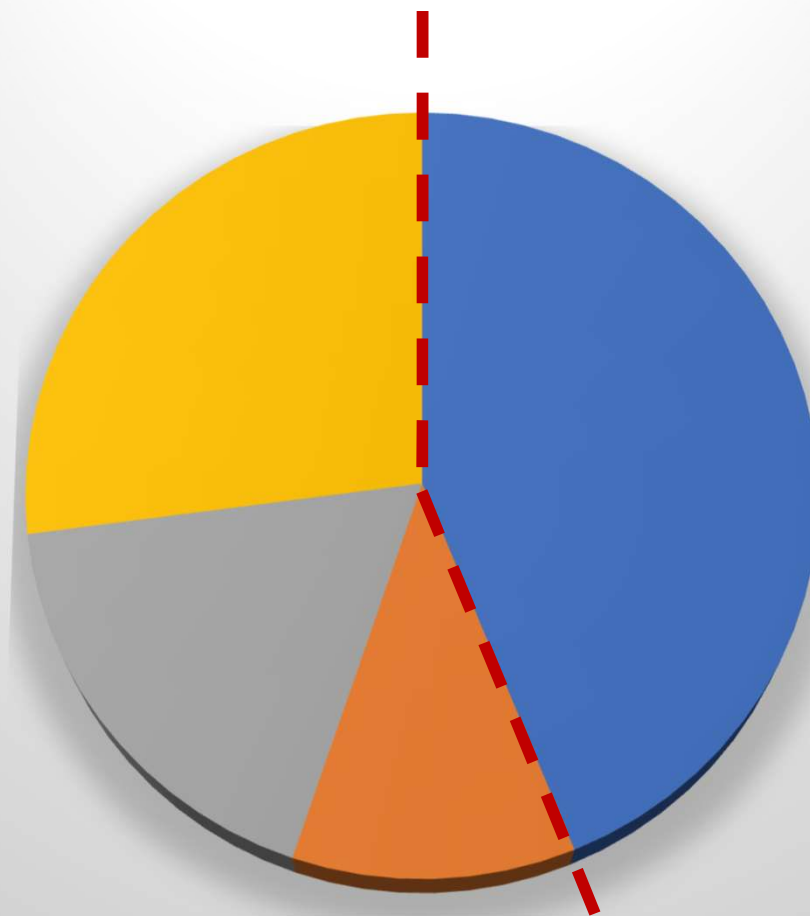
他医療機関からの依頼

地域（地域包括支援センター、保健相談所、福祉事務所、スクールソーシャルワーカー、家族）からの依頼

令和3年度～5年度訪問診療データ

< 依頼理由別 >

代理受診、
受療中断、
初期介入などの
継続的医療に
つながっていない
ケースが過半数を
超える



初期介入

継続医療

受療中断

代理受診

当院の訪問診療の状況

- 地域支援者等（保健相談所、地域包括支援センター（ケアマネージャー）、障害福祉係、高齢者担当、教育委員会（スクールソーシャルワーカー、子ども家庭支援センター） からの依頼が多い
- 令和8年3月現在の訪問診療対象者はおよそ **160名**（訪問看護は42名）
- 対象年齢は10歳未満～90歳代に及び、対象疾患も様々であるが、**認知症群、統合失調症群、気分・不安障害群、自閉症スペクトラム群**が均等に多い（通常の外来、入院治療と同様の割合の印象）
- 支援の ゴールは対象者が能動的に診療機関に繋がることであり、適宜、状況・希望に応じて精神科専門医療機関（児童、認知症）、身体科医療機関へ紹介している